

CS29 根本 拓磨
指導教員 小出 由起夫

1. 緒言

本校において高等教育機関として相応しい質の高い教育を行うために、カリキュラムの見直しや設備の充実をはじめ、企画・教務部や各学部において様々な改革や試みがなされてきた。

それらが効果的にかつ実質的に実施され、成果をあげていくためには、各種制度の運用や実行に関しての組織的支援体制の確立と運用、そしてITを利用した教育支援システムの活用が不可欠である。

しかし、本校においてITを利用した教育支援システムは教員を対象とした事務部門で一部運用されているが、教員と学生へのサービスを意図したシステムは残念ながら存在していないのが実状である。

そこで教育の質の向上を目指した教育支援システム(教育支援情報をデジタル化したサービス)の構築を目指すテーマを研究テーマとし、本校におけるITを利用した教育サービスの向上に寄与することを目的とした。

2. 機能

構築するシステムの機能は教員側の機能と学生側の機能とに分けて考える必要がある。

レポート課題の提示、授業内容、授業計画の登録などをする機能を教員側の機能とし、レポートの提出や課題の確認、自分の時間割や成績の閲覧などの機能を学生側の機能とする。以下に概要を示す。

- 全ての科目と学生、教員の情報を取得
- IDによる個人の特定
- 教員側の機能、学生側の機能の提供

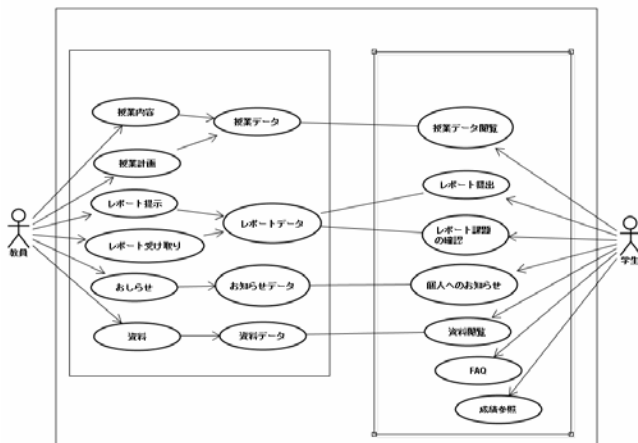


図1. システム全体のユースケース図

教員側の機能をサポートするシステムは データベース部、インターフェース部、リレーション部から構成されている。

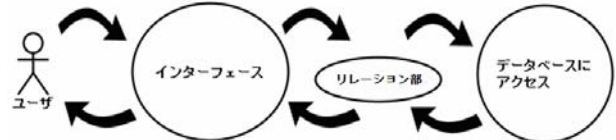


図2. システムの工程

3. 結果

研究の結果、この教育支援システムを構築するために必要な機能として現段階では“レポート課題関係”“授業関係”“お知らせ”“資料”などの項目が挙げられた。

そして、教員側の機能を実装する為に必要となる情報として ID、パスワード、個人情報、科目、学科、学年、講義室、時間割等の情報が必要である。



図3. 作成したインターフェースの例

4. 結論

今回、教育支援システムの基盤となるものを考案することができた。

本研究が今後の卒業研究テーマの礎となり、さらに設計した機能を実装するためのプログラム開発が行われ、ITを利用した教育支援サービスの充実につながることを期待する。

参考文献

- [1] “ひと目でわかる Microsoft Visual C# 2005
アプリケーション開発入門“

著者: 植田 政美, チームエムツ
発行: 日経 BP ソフトプレス
発売: 日経 BP 出版センター

